

2017年4月1日から2018年10月31日の間に  
川崎医科大学附属病院で腹部大動脈瘤手術を受けられた患者さんへのお知らせ

課題名：腎動脈下腹部大動脈瘤に対する腎保護プロトコルを用いての  
ステントグラフト内挿術の検討

1. 研究の対象

心臓血管外科学教室では、川崎医科大学・同附属病院倫理委員会の承認を得て、2017年4月1日から2018年10月31日の間に腹部大動脈瘤手術を受けられた患者さんの手術結果について後方視的調査研究を実施します。

2. 研究の目的・方法

当院の腎動脈下腹部大動脈瘤に対する腎保護プロトコルを用いてのステントグラフト内挿術の検討を後ろ向きに行い、腎保護プロトコルの効果を検証します。治療介入を伴わない既存資料（診療録の内容）を用いた後方視的研究であるため、新たに人体試料は採取しません。患者さんに新たなリスク、経済的負担、また謝礼などはありません。研究期間は倫理委員会承認日から2019年3月31日までです。

3. 研究に用いる情報の種類

診療録の情報：年齢、性別、使用デバイス、造影剤使用量、腎機能等。

個人が直接同定されうる情報は匿名化した後に解析を行なうため、外部に漏れることはありません。研究成果は学会で発表いたします。また、研究に関するデータは学会発表後から5年後に破棄いたします。

4. お問い合わせ先

研究に関してご質問のある方や研究にデータが使用されることを希望されない方は、下記までご一報くださいますようお願いいたします。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申し出ください。

研究責任者：心臓血管外科学 臨床助教 栗田 憲明

[お問い合わせ先]

川崎医科大学心臓血管外科学 臨床助教 栗田 憲明

〒701-0192 岡山県倉敷市松島 577

TEL: 086-462-1111 内線: 25517

Email: maisenn0724@yahoo.co.jp

## 5. 利益相反

研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断に歪みが起こりかねない状態を利益相反状態と言います。本研究にかかる費用はなく、利益相反委員会にこの内容を申告し適正に管理されています。